

仙人通信 138 今倉山(1470 m) 二十六夜山(1293 m)

今倉山は道志山塊の御正体山と菜畑山の中央に位置し、山梨100名山の21番目の山ある。都留市と道志を結ぶ県道の道坂隧道の横の駐車スペースから今倉山・二十六夜山を尾根伝いに進み、林道を経由して戻るコースとした。

駐車スペースの周囲には、小さな花の富士桜・梢から垂れ下がったキブシの花、そして紫色のタチツボスミレが目立つ。トンネルの横の狭い階段状の登山口からのスタートだ。

檜の林から水檜の緩やかな登りを10分程で御正体山と今倉山を結ぶ尾根道となる。

道志川の先に大室山・鳥の胸山等の裏丹沢の山が広がる。芽吹きをまつ唐松・水檜・ブナの林の下では小さな紫のスミレがあるも、イチリンソウ・アザミそしてイワタバコの葉によく似たモウズイカだろうか、やっとな葉を付け始めている。登り始めて45分程で梢越しに白い富士山が頭を出す。最初のピークを過ぎたころから、湿ったローム層の急勾配の登りだ。

大きなピンクの花弁のスミレであるが……。茎が短い事から、アケボノスミレでなくアオイスミレのようだ。スタートから1時間20分で三等三角点のある今倉山の山頂に辿り着く。

360°の展望ではあるが、菜畑山方向を除いて梢越だ。休憩後、富士山を梢越しではあるが、左手に見ながら10分で西峯(御座山)である。最初のピークを過ぎた頃から尾根は、岩が目立つようになり、そのお蔭で富士山が綺麗に望める。補助ロープの張られたブナ林の中を下ると、沢沿いに林道へと下る道標がある。更に3つの小さなピークを越えた所が赤岩だ。

ガイドブックにある今倉山の山頂から丁度40分で到着だ。赤岩とあるので意識していたが、これまでの尾根の岩と変わらない青色片岩である。赤岩からの展望はよく、秩父・御坂・道志そして南アルプスの白い尾根が望めるも、富士山だけは雲がかかり始めてしまった。

ブナ・水檜に加え桜・リョウブ・ウツギそしてアブラチャンも黄色い花を付けている。カケスやヤマガラの囀りを楽しみながら、30分程下ると二十六夜山との間を走る林道が目下に、又沢筋には雪が確認された。丸太の階段を林道に降りると、咲きたての綺麗な露の頭が、又林道を横切り登り始めると、可愛いハルリンドウが一輪小生を迎えてくれているのに感激だ……。高度が下がった事からか、白や薄いピンクのスミレが目立つようになる。

20分程で二十六夜山の山頂(三等三角点)だ。都留市は檜で望めないも眼下に九鬼山がその先に生藤山が、三頭山の前には権現山や扇山も確認できた。西側では三つ峠から先の御坂の山・杓子岳の先に富士山である。展望を楽しんだ後、林道まで戻り、キブシ・富士桜・猫柳等の木の花やスミレを初めカキドウシ・キランソウの花の写真を撮っての1時間の林道歩きをした

4時間45分(19700歩)の山歩きでした。(h 28. 4. 12)

今倉山山頂



赤岩直下からの富士山



ハルリンドウ

